

研究名

抗がん剤治療患者における吃逆発現の実態調査

1. 研究の対象

2023年3月から2024年3月までの当院入院患者において点滴抗癌剤を投与した患者

2. 研究目的・方法

吃逆は、横隔膜などの呼吸筋の痙攣による声門の閉塞によって起こる現象である。食事の摂取・飲水刺激やストレスなど吃逆の原因は様々であるが、その中でも抗がん剤投与患者において吃逆が発生することがある。吃逆の対処法は非薬物療法・薬物療法問わず存在するが、薬物療法において、吃逆に関するガイドラインはなく、吃逆発生に関する患者因子や推奨される治療は不明確な点が多い。そこで、済生会横浜市南部病院（以下、当院）における抗がん剤治療患者における吃逆発現の患者因子、治療について調査した。

3. 研究に用いる情報の種類

患者背景、癌腫、化学療法レジメン、吃逆に対する治療

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 出 千紘

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 出 千紘